

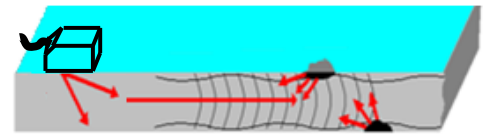
ロングレンジUT (ISONIC 2006、3505 Long range UT)



探傷状況 (ISONIC 2006)



装置 (ISONIC 3505)



ガイド波の伝搬イメージ

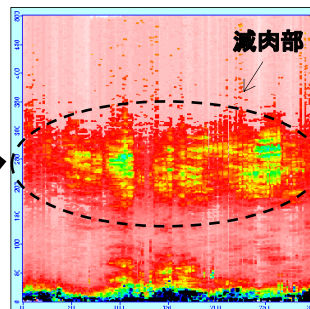
ロングレンジUTは、ガイド波を用い、アクセスできない部位に発生するきずや腐食を検出する手法です。ガイド波は、板厚全体を伝播し、断面形状が変化する部位で反射します。この反射エコーを受信し、きずの位置や大きさを測定します。

特長

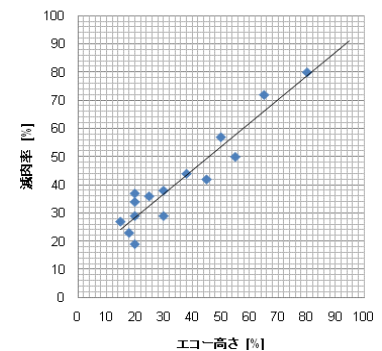
- 1回の探傷で表裏面の検査が可能
- 稼動中の検査が可能
- 測定対象物の広範囲にわたる性状を把握できる
- 検査結果のビジュアル性に優れている
- 検量線による減肉率の評価が可能



配管バンド部腐食状況



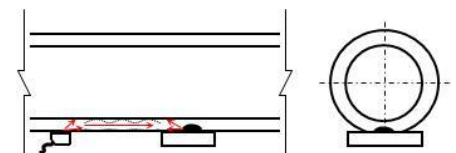
探傷画像(外面腐食)



検量線 (参考)

適用

- 検査対象:
配管(直置き、バンド巻き部、コンクリート貫通部等)
塔、槽(側板、底板等)
- 対象材質:主に炭素鋼
- 対象肉厚:4 mm~30 mm
- 対象サイズ:4B~平板
- 検出レベル:減肉率20 %以上
- 対象温度:常温



配管架台部の検査